

農作物技術情報 号外 水稻

発行日 平成25年 2月15日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

育苗期に細菌病が多発する恐れがあることから「病虫害発生予察情報 注意報第1号」(H25.2.12, 岩手県病虫害防除所)が出されています(<http://i-agri.net/agri/>)。育苗期の細菌病対策は温度管理や水管理などの耕種的対策の徹底が基本となります。特に昨年細菌病の発生が見られた方は、発病抑制に有効な「プール育苗」、ハウスへの「遮光資材」を今のうちに準備しましょう。

1 プール育苗・遮光資材の準備

【適正に管理されたプール育苗】



- 緑化終了後2～3日以内にプールを湛水にしないと発病抑制の効果は期待できない。
- 適期に湛水するためには、出芽揃いを良好にすることが大切である。
- ヒタヒタ水など十分な水深を確保しない管理は細菌病の発生を助長する。

【ハウスへの遮光資材設置】



- 遮光資材(白色・黒色など)を育苗期間中、ハウスビニールの外側に被せる。
- 昨年の現地事例では遮光率20%・40%では水稻育苗への影響は生じなかった。
- その他、液状の遮光剤をハウスに吹き付けるタイプの資材もある。

- ※プール育苗の導入にあたっては、最寄りの農業改良普及センターやJA等にご相談下さい。なお、岩手県農業研究センターのホームページで作業手順や必要な資材等についてご覧頂けます(<http://www.pref.iwate.jp/~hp2088/>)。
- ※その他、育苗期(塩水選、種子予措～播種・育苗)の耕種的対策や薬剤防除対策については、3月下旬発行予定の農作物技術情報第1号で詳しくお知らせします。

農作物技術情報第1号は3月下旬発行の予定です。
気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。
※ 発行時点での最新情報に基づき作成しております。
※ 発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。